

製品・サービス動向-国内

■タケロボ：IBM Watson やクラウド、Web
会議などと連携するコミュニケーションロボ
ット「ロボコット」を1月より発売

(取材：3月13日)

「ロボットはもう当たり前の存在になってきた。IBM Watson やクラウド、あるいは Web 会議などとの連携でロボットの利便性はさらに高まっていくだろう。」とロボットの現状と可能性を語るのは、タケロボ株式会社 代表取締役社長 竹内 清明氏。日本ユニシスで長年システム販売や新規ビジネスの企画・推進などに携わり、2011年にロボット技術(ハードウェア、ソフトウェア)を活用した製品の製造・販売を行う、タケロボ (<http://www.takerobo.co.jp/>) を都内築地に設立。2013年からサービスロボット「サッチャン」の提供を開始して以来、オリジナルロボットなども含め多くの企業や店舗などで採用され高い評価を得ている。

ショッピングセンター、商店街、アミューズメント施設、駅、空港、病院など数ある導入例の中で紹介していただいたのは、ハウステンボスにあるレストランで採用された“コンシェルジュロボット”としてのサービスロボット「サッチャン」と、後述のマスコットロボット「ロボコット」の事例である。サッチャンは、案内や歌を歌ったり写真撮影に応じたりといったサービスを提供し、ロボコットは、その見た目のかわいさから子供たちに人気で家族客などの来店を促すトリガーになっている。また、イオン銀行(イオンフィナンシャルサービス株式会社、後述の新型ロボットを採用)の遠隔窓口にも同社のロボットが採用されている。

来店客の最初の対応と要件別のご案内を行うことを目的としている。

「ロボットは誰もが簡単に楽しく利用でき、かつ役に立つことが重要だ。当社は、楽しさと有用性の両方を提供するロボットを開発・販売している。」(タケロボ)

同社によると、これまでの導入例から導きだされた効果については、店舗への集客のほか、来店客への効果的なお知らせ・各種説明、イメージアップによるリピート客の獲得などがあげられるという。もちろん、これらの効果により収益の向上につながったという声も多いという。案内対応の効率化による省力化も図れる。

「ロボットによって、お客さまが喜んで下さったり、店舗や施設が明るくなったり、待ち時間も楽しく過ごせることでクレームの大幅削減につながったという事例もある。」(タケロボ)

タケロボが Web 会議との連携を模索しているのは、2017年1月26日に発表した、IBM Watson やクラウドとの連携、拡張性の強化を実現したマスコット型コミュニケーションロボット「ロボコット」の新型モデルだ。



コミュニケーションロボット ロボコット -画面タッチパネルでメニューをタップすると各種サービスを受けられる。そのキャラクターのかわいさから家族づれの子供たちに人気。(タケロボ)



会話中のロボコット--会話ログも取れる（タケロボ）

ロボコットとの対話とタッチパネルによるメニュー操作により、スムーズかつ確かなコミュニケーションを可能にする。たとえば、Watson による対話により一次的な接客を行うことができる。Watson の自然学習により対話品質を向上させることも可能だ。加えて、タッチパネルからのメニュー選択で、商品やサービスの紹介やシミュレーションなど、画像や映像を交えて提供できる。詳しい説明が必要な場合は、メニューから担当者を Web 会議で呼び出し、ロボコットによる遠隔窓口対応することも可能だ。

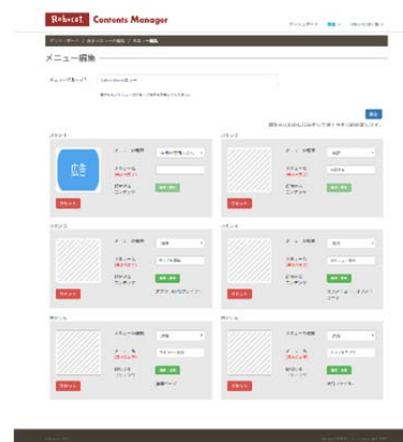
本体には、タッチパネルの機能を果たすマイクロソフトの Surface が収納されており、マイク、スピーカー、USB ポートなどが装備され、外観をキャラクターのぬいぐるみで覆うようになっている。キャラクターは、猫、犬、うさぎ、熊、パンダなどが選べる。

モデルは、8 型（インチ）版、12 型（インチ）版、12 型（インチ） Watson 版の 3 種を提供している。日本語および多言語に対応している。

コンパクトなのでテーブルなどに置けるなど場所を取らないし、セットアップと操作が簡単で、運用管理もクラウドから一元管理できる利便性がある。市販ソフトなどの組み込みも容易だ。



管理者画面---運用管理は直感的なメニューで分かりやすい（タケロボ）



メニュー編集はシンプル（タケロボ）

販売は、株式会社日立ハイテクソリューションズ(<http://www.hitachi-hightech.com/hsl/products/ict/hightech-vision/lineup/robocot.html>)などパートナー企業が手掛ける。タケロボによると、今後、業務システムとの連携、ビッグデータ情報の収集・分析によるロボット反応の最適化や、遠隔医療分野の領域でのロボットの応用などを検討しているという。さらにビッグデータ情報の収集・分析には、日立のビッグデータ関連サービスとの連携も視野にあるという。「当社はタケロボと販売提携した。ロボットと Web 会議などの連携の可能性に期待を寄せている。」（日立ハイテクソリューションズ）

ロボットを通して収集されるさまざまな情報を得られるため、対面・接客ツールにとどまらず、販売ツ

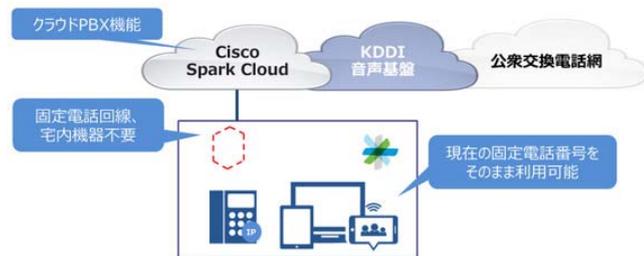
ルやマーケティングツールとしての役割も果たすようになってきている。あるいはビッグデータのデータ収集を行うある意味センサーとしての機能も果たしつつある。

「コミュニケーションロボットの可能性は大きい。将来的には事業向けだけでなく、我々としては各家庭に一台を実現していきたいと考えている。」（タケロボ）

■KDDI とシスコシステムズ：「Cisco Spark」や「Cisco Spark Board」の提供などで協業

（4月13日）

KDDI 株式会社 (<http://www.kddi.com/>)（東京都千代田区）とシスコシステムズ合同会社 (http://www.cisco.com/c/ja_jp/index.html)（東京都港区）は、ビデオ会議を中心にビジネスコミュニケーションを統合したクラウドサービス「Cisco Spark」の提供で協業すると発表。



サービスの概要 (KDDI)

この協業により、KDDI は、7月より、ビデオ会議・VoIP 内線通話、メッセージングなどのビジネスコミュニケーションが統合されたクラウドサービス「Cisco Spark」と、モバイルとのワイヤレスペアリング機能により配線なしで簡単に大画面でのビデオ会議を始めることができる「Cisco Spark Board」の提供を開始する。

また、Cisco Spark の calling 機能（クラウド PBX 機能）と KDDI の音声基板との連携により、固定電話番号での外線通話とクラウド PBX 機能を利用できるサービスを提供する。これにより、固定電話回線や宅

内電話交換機（PBX）などの設備なしで音声環境を実現できるとしている。また、番号ポータビリティによる既存の固定電話番号の利用も可能となっている。



<利用イメージ>

Cisco Spark 利用イメージ (KDDI)

KDDI は、大企業から中堅・中小企業まで、スマートフォン・タブレットなどと組み合わせたシスココラボレーションソリューションを積極的に展開してきた。また、アップルとシスコが連携した法人向けソリューションの展開に際し日本国内キャリアとして唯一のリファレンス・パートナーに選定された。これらのことから「Cisco Partner Conference Japan 2016」にて「Strategic Partner of the Year」を受賞した。

KDDI とシスコは、モバイルと Cisco Spark で、会議のあり方と固定電話音声環境の変革により、場所に縛られない自由な働き方により、中小企業からエンタープライズ企業まで、働き方改革を推進していきたい考えだ。

■日本マイクロソフト：「Skype 翻訳」において、10 言語目として日本語リアルタイム翻訳機能を追加

（News Center/Japan Office Official Blog:4月7日）

日本マイクロソフト株式会社 (<https://www.microsoft.com/ja-jp/>)（東京都港区）は、Skype に日本語のリアルタイム会話翻訳機能（Skype 翻訳）を追加したと発表。

Skype 翻訳（Skype Translation）は、主に PC 用の

Skype の拡張機能のひとつで、言語の壁を越えて友達や家族とのコミュニケーションを可能にするもの。また、メッセージのテキスト翻訳では 60 以上の言語の翻訳が可能となっている。

リアルタイム会話翻訳は、アラビア語、中国語（北京語）、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語をサポートしている。日本語は 10 言語目として追加となった。

音声翻訳は、マイクロソフトの独自技術 TrueText によって音声認識用と機械翻訳用の 2 つの異なるタイプの AI を組み合わせることで実現する。TrueText は認識された音声を機械翻訳で翻訳可能な形に変換する仕組みを提供している。

マイクロソフトは、2014 年 12 月に Skype 翻訳を提供開始し、2015 年に Microsoft Translator API とアプリを提供開始したが、新しい言語追加には、特定の追加作業が必要だった。マイクロソフトの AI と自然言語処理の専門家チームがあらゆる言語が持つ固有の特性に対応する必要があった。

対応するアプリは、「Skype for Windows デスクトップ版」「Skype for Windows 10 プレビュー版」「Skype Web 版」で Skype 翻訳が利用できる。また、Skype for Windows10 プレビュー版では、世界中の固定電話、携帯電話へ通話するときも、Skype 翻訳のリアルタイム会話翻訳機能を利用することが可能となっている。たとえば、中国語が話せなくても、Skype 翻訳を使えば現地のホテルに直接電話して予約を行える。

■SOBA プロジェクト：Web セミナーで認識率がほぼ 100%の字幕放送を可能に

(3月30日)

株式会社 SOBA プロジェクト (<https://www.soba-project.com/>) (京都府京都市) は、株式会社アイセック・ジャパン (<http://www.iscej.co.jp/>) (沖縄県うるま市) と業

務提携し、SOBA プロジェクトのライブセミナー配信システム「SOBA Live for セミナー」において、専門のオペレータが文字入力を行う「文字字幕機能」を 4 月 3 日にリリースする。

オンラインセミナーでは、映像音声とスライドを使って配信するが、PC 環境やスピーカー、ヘッドセットなど周辺機器によって聞き取りにくい場合や、意味を取り違えてしまうこともよくある。

この文字字幕機能では、セミナー講師の声をオペレータが音声認識によってリアルタイムにテキスト化し画面に表示することができる。専門の文字オペレータを複数人配置し、開始と同時に文字を入力し、表示・記録する仕組みとなっている。

SOBA プロジェクトによると音声認識率はほぼ 100%という。生放送のウェブセミナーでもテレビの文字放送と同様に、講師の声や会話をリアルタイムで文字表示することができる。音声は文字によって表示されるため、より理解しやすく、また音量が少ない場合でも内容を正確に伝えることができる。聴覚障害の方のセミナー受講や、文字を逐次翻訳することで国籍を問わずにセミナーを受講といったニーズに対応できる。

料金については、1 時間 4 万円（税別、長期契約の割引あり）。字幕ログ提供 1 万円（税別）。

■サンワサプライ：広範囲の音を拾える高感度 USB マイクを発売

(PR TIMES：4月11日)

サンワサプライ株式会社 (<https://www.sanwa.co.jp/>) (岡山市北区) は、広範囲の音を拾える高感度マイク「MM-MCUSB-33」を発売した。

MM-MCUSB33 は、半径 5m の集音可能な高感度マイクロユニットを搭載した USB 接続型のマイク。バスパワー駆動対応 (AC アダプタ不要)。本体はメタルハウジングを使用しており、強度があるため安定感がある。サイズは幅 80x 奥行 80x 高さ 20mm。同社によ

ると複数人が参加する Web 会議などに最適という。

USB 接続によりパソコン内部で発生するノイズを受けにくく、エコーキャンセリング機能が会話に伴う音響エコーを抑制・除去するため、クリアで聞き取りやすい音声を伝えることができるのが特徴。加えて、ケーブル長が 1.5m あるため、会議テーブルの中央など、人が聞き取りやすい位置に置いて使用することができるようになっている。



MM-MCUSB33(サンワサプライ)

その他、マイクを必要としていない場合は消音にすることができるマイクミュートスイッチがある。また、ヘッドホンやスピーカーが接続できるステレオミニ端子も搭載している。

MM-MCUSB-33 の価格は、20,520 円 (税込み)。

■ ネットワンシステムズ：オンプレミスとクラウドを単一のポリシーでセキュアに接続し容易な統合管理を実現するクラウドネットワークソリューションの販売を開始

(記者発表会取材：4 月 5 日)

ネットワンシステムズ (<http://www.netone.co.jp/>) (東京都千代田区) は、アリスタ・ヴァイエムウェアとの戦略的提携による「SD-HCI」をコアとしたクラウドネットワークソリューションの販売を開始する。

近年、事業の迅速化や IoT/AI でのデータ蓄積や分析などでクラウドの利活用が進んでおり、オンプレミス

でもクラウドでも最適な場所で業務システムやデータを活用したいという要望が増えているという。しかし、データセンター/事業拠点/クラウドを簡単にかつ安全に接続するネットワークの全体像が描けないという課題があった。



(左から) ARISTA Networks グローバルオペレーション & マーケティング担当副社長 Mark Foss 氏、ネットワンシステムズ 執行役員 篠浦 文彦 氏、ネットワンコネク ト 代表 執行役社長 平川 慎二 氏、ヴァイエムウェアソリューション ビジネス本部 本部長 小林 泰子 氏

SD-HCI (Software Defined Hyper Converged Infrastructure) は、アリスタネットワークスとヴァイエムウェアとのソフトウェアを統合して独自開発したもので、アンダーレイネットワークとオーバーレイネットワークを統合しオンプレミスとクラウドを単一のポリシーでセキュアに接続することで容易な統合管理を実現するソフトウェアパッケージ。



クラウドネットワークソリューションの概要 (ネットワンシステムズ)

ターゲットとするユーザは、大企業や公共を想定している。メリットは、クラウド利活用の加速、運用管

理負荷の大幅な削減、既存の投資保護、セキュリティの向上などがある。「クラウドビルダーあるいはクラウドブローカーとして、オンプレ+クラウドをひとつのネットワークとして一体として運用できるアーキテクチャーをネットワークが提供する。」（ネットワークシステムズ）また導入に際しても、「カスタマイズを行うと膨大な手間がかかるが、SD-HCIのようなパッケージ化で構築に時間をかけずに導入できるメリットがある。」（ネットワークシステムズ）

SD-HCIの主な機能は、（１）「プライベートクラウドネットワーク機能」：プライベートクラウド内ネットワーク全体の統合管理。（２）「ハイブリッドクラウドネットワーク機能」：プライベートとパブリック間の仮想ネットワークの提供と統合管理。

（３）「SD-WAN 機能」：各事業所拠点とプライベート/パブリック間の仮想ネットワークの提供と統合管理。（４）「セキュリティ機能」：プライベート/パブリック/各事業所を横断した次世代型仮想ファイアウォールの提供およびセキュリティポリシーの動的変更と統合管理。「可視化（テレメトリ）機能」：プライベート/パブリック/各事業所を横断したリアルタイムでのネットワーク状況の高度な可視化・分析による障害の予防検知。

本ソリューションは、SD-HCIに加えて、「クラウドHUB サービス」（2016年8月25日発表）、計画・導入・運用・最適化の全フェーズに渡るライフサイクルサポートサービスで構成されている。

今回の発表に伴い、SD-HCIを専門に取り扱う「ネットワークコネクト合同会社」を4月3日に設立。ネットワークシステムズ株式会社が100%出資の会社。アリストネットワークスとヴェイムウェアの幹部がアドバイザーとして参画。「意思決定の迅速化のため合同会社による子会社化とした。まずは5人からスタートする。」（ネットワークシステムズ）

SD-HCIの価格は2,000万円から。販売は、ネットワ

ンシステムズからの直接販売および子会社ネットワークパートナーズからのパートナー企業を経由した間接販売で提供するとともに、SD-HCIのみを新会社ネットワークコネクト合同会社から新規パートナー企業に販売する形を取る。



データセンター向けソリューションの概要 (ネットワークシステムズ)

今後の予定としては、7月よりまずデータセンター向けソリューションの販売を開始、10月以降にSD-HCIにハイブリッドクラウドネットワーク機能とセキュリティ機能を追加とクラウドHUBサービスと連携。そして来年初には、SD-HCIにSD-WAN機能や可視化（テレメトリ）機能を追加する予定となっている。以後も継続してSD-HCIの機能を強化していくとしている。

導入・利用動向-国内

■ブイキューブ：総合ヒューマンアカデミー、テレビ会議システム「V-CUBE Box」を活用した参加型オンライン授業を全国校舎にて4月より開始

（4月3日）

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>)（東京都目黒区）は、「総合学園ヒューマンアカデミー」 (<http://manabu.athuman.com/>) がブイキューブのテレビ会議システム「V-CUBE Box」を導入したと発表。2017年4月より同校全国の校舎でオンライン授業の映像コミュニケーションインフラとして活用する。

総合学園ヒューマンアカデミーは、ヒューマンホー

ルディングス株式会社の事業子会社で、教育事業を運営するヒューマンアカデミー株式会社(東京都新宿区)の全日制専門校。全国19校舎(※平成29年3月現在)のネットワークを活かし、マンガ・ゲーム・デザインをはじめ、ファッション・ヘアメイク・釣り・バスケットボールなど多岐分野に渡り、多彩なニーズに柔軟な発想で応えている。



V-CUBE Box(ブイキューブ)

この導入によって、遠く離れた校舎で学ぶ受講生にも、対面授業と同じ感覚で、業界の第一線で活躍する人気講師によるライブ授業を届けることができるようになる。また、生放送の強みを活用してリアルタイムで講師に質問することが可能となる。マンガ・デザイン・ゲームなどの高精細なデータのやり取りが必要な授業でも、簡単な操作で双方向での会話、映像の送受信ができるため、講師が近くにいるような感覚でオンライン授業を受けることができる。

同校では、他のカレッジへの展開はもちろん、教室に限らず離島や海外での受講を目指し、受講生の学びたい気持ちを叶えるサービスを今後の取り組みとして考えている。

PR

(広告掲載順)

■ヤマハ株式会社

USB スピーカーフォン FLX UC 500

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

■株式会社ロジクール

BRIO--RightLight 3 (HDR) を採用した 4K Ultra HD ウェブカメラ

<http://www.logicool.co.jp/ja-jp/product/brio>

SmartDock--Skype for Business 用に設計された、セキュア ミーティングルーム コンソール

<http://www.logicool.co.jp/ja-jp/product/smartdock>

セミナー・展示会情報

<国内>

■柔軟な働き方に！Web 会議×モバイル 活用事例紹介セミナー

日時：4月18日(火) 15:30~17:30

(受付：15:00)

会場:キヤノン IT ソリューションズ本社 (東京都品川区)

主催:キヤノン IT ソリューションズ株式会社

詳細・申込:

<https://reg.canon-its.co.jp/public/seminar/view/354>

■失敗しない「Web 会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー ~ビジュアルコミュニケーションツールの選び方をデモを交えてご紹介~

日時：4月19日(水) 16:00~17:30 (受付：15:30)

会場:ブイキューブ 大阪営業所

主催:株式会社ブイキューブ

詳細・申込:

<https://lp.vcube.com/20170419-osaka-choice-seminar-registration.html>

■あらゆるコミュニケーションを効率化するシスココラボレーション セミナー&体験会

〈体験会〉日時：4月21日（金）10：00～18：00

会場：プリンストン 大阪支店（パークスタワー12F）

〈セミナー〉日時：4月21日（金）13：30～16：00

テーマ：あらゆるコミュニケーションを効率化するシスココラボレーション

講師：シスコシステムズ合同株式会社

コラボレーション事業部 市場開発 大野秀記 氏

会場：パークスタワー 7F 会議室

主催：株式会社プリンストン

詳細・申込：

<http://www.princeton.co.jp/news/2017/03/201703291100.html>

■動画活用セミナー開催のご案内

E-ラーニング大手 iStudy 社のセミナー

第一回目:日時: 4月26日（水）15:00～17:00

会場:アイスタディ 目黒オフィス(東京都品川区)

第二回目 日時: 5月17日（水） 15:00 ～ 17:00

会場:アイスタディ 中目黒オフィス(東京都目黒区)

主催：アイスタディ株式会社 詳細・申込：

https://www.gumu.com/ja/blog/ja/2017/03/22/istudy_gumu/

■失敗しない「Web 会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー ～ビジュアルコミュニケーションツールの選び方をデモを交えてご紹介～

日時： 4月27日（木）16:00～17:30（受付：15:30）

会場：ブイキューブ 本社（東京都目黒区）

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：

<https://lp.vcube.com/20170427-tokyo-choice-seminar-registration.html>

※ブイキューブその他セミナー情報：

<https://jp.vcube.com/event/seminar/>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2017年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2017年4月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp